

大阪市長 横山 英幸 殿  
 大阪市会議長 片山 一步 殿

## 大阪市は公園・街路樹の伐採・撤去作業を一旦ストップし、住民に説明し、住民の声を聞く場を早急に設けること。公園・街路樹の維持管理・保全育成は日常的に行い、大阪市の緑被率を高め、“季節感と安らぎ、潤いのある街・おおさか”にすることを求める陳情署名

大都市・大阪における公園樹や街路樹は、次のような大切な役割を持っています。

- ①地球温暖化の原因ともなっているCO<sub>2</sub>を吸収する大切な資源です。
- ②気温の上昇を抑え、都会のヒートアイランド現象を防止します。
- ③公園の樹木や芝生は、市民に安らぎと憩い、潤いを与えます。
- ④街路樹は、騒音を減らし、大気汚染を防止し、火災時には防火の役割も果たします。

このように大切な役割を担っている公園樹や街路樹を、大阪市は 19,000 本も伐採・撤去する計画を立て、作業を進めています。台風で倒れた木の撤去と植え替え、信号機の障害になる枝の剪定などは必要なことですが、それは公園樹・街路樹の維持管理として日常的に行うべきことであり、6年間に55億円もの巨費を投じて一斉に伐採・撤去するようなことはありません。

樹木の専門家からは、「伐採の必要もない樹まで伐採している気がする」「手をすれば長持ちする樹も切っている感じ」などの意見が出され、住民は伐採・撤去作業が始まってから初めて知る状態です。

それだけでなく緑が少ないと言われる大阪市にあって、樹を伐採・撤去する計画(「公園樹・街路樹の安全対策事業」)には大きな問題を感じ、私たちは次の事項を緊急に大阪市ならびに大阪市議会に陳情します。

### 《私たちの陳情事項》

1. 大阪市は、実施中の公園・街路樹の伐採・撤去計画について一旦作業をストップし、住民に説明し、住民の声・意見を聞く場を早急に設けること。
2. 大阪市は、倒木の撤去と植え替え、信号機の視界を遮る枝の剪定などは、公園樹・街路樹の維持管理として必要な予算を取って日常的に行うこと。
3. 大阪市は、公園・街路樹を大切に保全育成、増やして緑被率を高め、“季節感と安らぎ、潤いのある街・おおさか”、市民が暮らしやすい大阪市にすること。

氏 名	住 所

**【呼びかけ団体】** 大阪から公害をなくす会 道路公害反対運動大阪連絡会 原発ゼロの会・大阪 エネルギー一部会  
**【連絡先】** 大阪府中央区本町 2-1-19 内本町松屋ビル 10 370 号 大阪から公害をなくす会  
 電話：06-6949-8120 FAX：06-6949-8121 メールアドレス：info@oskougai.com

**【取り扱い団体】**

# 大阪市の公園・街路樹の伐採・撤去計画

何かおかしくないですか？



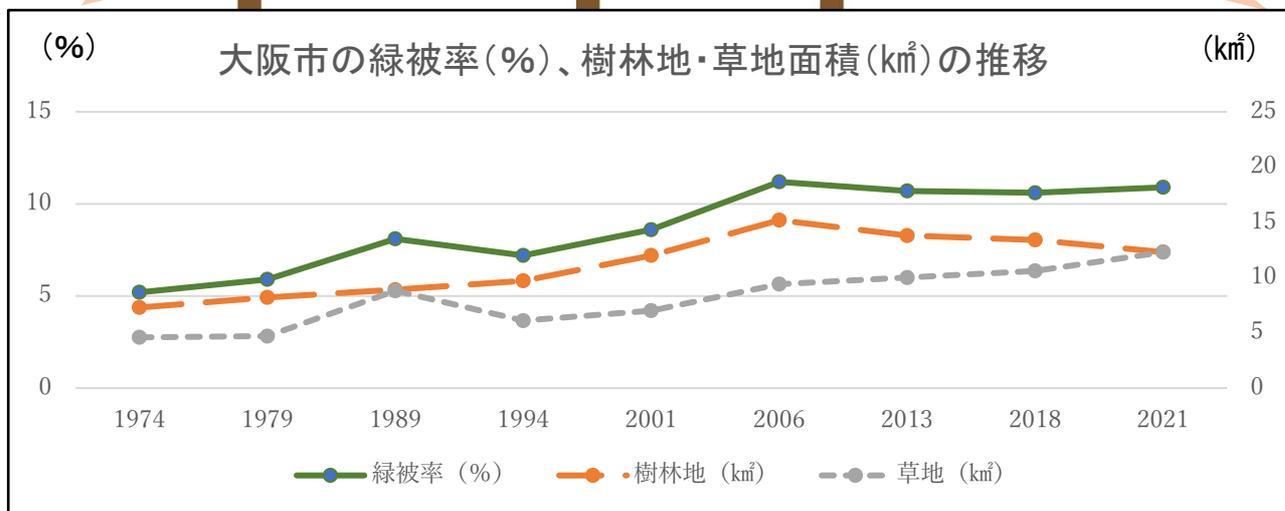
樹木 19,000本を  
伐採・撤去する計画。  
総事業費 55億円

対象区分		当初計画(年度)	伐採・撤去本数	実施時期
街路樹	第Ⅰ期	2018～2020	9,000本	
	第Ⅱ期	2022～2024	3,000本	2023年9月 ～2025年3月末
公園樹		2020～2023	7,000本	2023年9月 ～2024年3月末
合計		2018～2024	19,000本	

2018年度から2024年度までに、「公園樹・街路樹の安全対策事業」として“市民の安全安心に影響を与える”樹木として、公園樹・街路樹19,000本を伐採・撤去する計画。

本当に切る必要が  
ある？

樹木の維持管理は日常  
的に行うべきこと！



大阪市の緑被率は2006年までは増えていますが、そこ以後は「横ばい」ないし「微減」。内訳では樹林地が 2.9 km<sup>2</sup>減り、草地が 2.9 km<sup>2</sup>増加しています。緑被率は東京の半分以下です(東京は「みどり率」)

一旦ストップし  
見直しを！

署名にご協力をお願いします。



## 公園樹・街路樹の役割

- ・温暖化の原因 CO<sub>2</sub> を吸収します。
- ・ヒートアイランド現象を防止します。
- ・市民の安らぎの場となります。
- ・騒音削減、大気汚染防止になります。